

2

山本さんは、日本の武道である「弓道」について調べたことを紹介するためのパンフレットを作成しています。次は、【パンフレットの下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

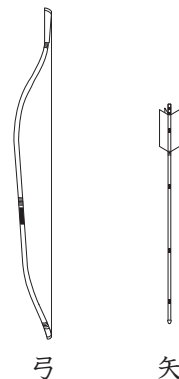
【パンフレットの下書きの一部】

## 弓道を知ろう

弓道は、弓矢で的を射る一連の動作を通し、心身の鍛錬をする日本の武道です。

### ■ 弓道の道具

「弓」の長さは、221cm前後です。「矢」の長さに規定はなく、本人の腕の長さによって決めます。これらは、竹をはじめとする様々な素材で作られます。



### ■

近的競技と遠的競技という二つの種目があります。近的競技は、通常、的までの距離が28mで、直径36cmの的を使用します。それに対して、遠的競技は、通常、的までの距離が60mで、直径100cmの的を使用します。

### ■ 弓道から生まれた言葉

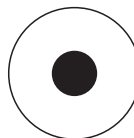
「凶星を指されて動揺した」のように使われる「凶星」という言葉は、弓道から生まれたとされています。

弓道の「的」には、「霞<sup>かすみ</sup>的」や「星<sup>ほし</sup>的」などがあります。

「凶星」とは、星<sup>ほし</sup>的の中心に描かれた黒い点のことです。弓で矢を射るときに凶星を狙うことから、「目当ての所」、「急所」という意味で使われるようになりました。



霞的



星的

一 に当てはまる見出しを、他の見出しの書き方を参考にして、五字以上、八字以内で書きなさい。なお、【パンフレットの書きの一部】の中にある言葉を使って書くこと。

二 山本さんは、【パンフレットの下書きの一部】を読み返して、で囲まれた部分の内容を「弓道から生まれた言葉」の項目から「弓道の道具」の項目に移すことにしました。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 「弓道の道具」の項目で「的」の種類を説明する方が、各項目にふさわしい内容をまとめることができるから。
- 2 「弓道の道具」の項目で「的」の種類を説明する方が、パンフレット全体の内容を増やすことができるから。
- 3 「弓道の道具」の項目で「的」の種類を説明する方が、調べたことと考えたことを区別することができるから。
- 4 「弓道の道具」の項目で「的」の種類を説明する方が、伝えたいことを繰り返し示すことができるから。